

【いじめの傍観者をテーマにした指導案例】

中学年学級活動(2)指導案

- 1 題材名 本当の勇氣
- 2 本時目標 これまでの友達との関わり方を振り返り、いじめを傍観せず真に友達を思いやるとはどういうことかを考え、個人の目標を持つ。 <(2)ーウ 望ましい人間関係の形成>
- 3 学習過程

| 学習活動 | ○主な発問 ・予想される児童の反応 | ・指導上の留意点 ◎評価 ※手立て |
|--|--|---|
| 1.友達との関わり方について、アンケート結果（表またはグラフ）をもとに話し合う。 | ○「いじめを見て、嫌だなと思ったことがある」「あなたならどうする」の2つの学級アンケート結果について、どう思いますか？ | ・普段の生活の中で、悲しい思いしている友達があることや、学級の問題であることに気付かせる。 ・嫌だと思っても、行動には勇気が必要だと感じる人が多いことについて自分なりの考えを持たせたい。 |
| 2.「あなたならどうする」の場面について話し合いを深める。 | ○「あなたならどうする」の場面で、みんなはどんな気持ちだったと思いますか？ | ・どんな考え方も否定せずに受け止め、自分の素直な思いを出し合い、深め合えるように配慮する。 ・自分の経験を語ったり、そのときにとった自分の行動を振り返ったりする発言が予想されるが、あくまでもまとめず、中心の発問で問いかける。 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> これからのあなたは、どんな自分になっていきたいですか？ </div> | | |
| 3.ビデオをもとに話し合う。 <ビデオ内容> 1年生や2年生、学校の先生からのビデオメッセージ「ありがとう3年生（4年生）」 | ○ビデオを見て、どんなことを考えましたか？ ○本当に友達を大事にするというのは、どんなことだと思いますか。 | ・下級生の友達が、わたしたち3年生（4年生）のどんな態度に対して感謝していたかをビデオを通して伝え、なりたい自分への意欲を高める。 ・個人目標決定の際に参考となるように、できるだけ多くの意見を出させて板書する。 |
| 4.個人目標を決め、発表する。 | ○どんなとき、どんなことができる自分になっていきたいですか。目標カードに書きましょう。 | ◎友達を大事にするための、具体的な目標を持つことができたか。 ※目標をカードに記入する際、達成したかどうか分かりやすい具体的な目標となるよう助言する。 ・個人目標を発表し合い、実践への意欲が高まるよう励ます。 |

※自己決定したことを、この後1～2週間取り組み、そののち振り返り（自己評価カードやアンケート・集計）などを行う。取り組む間は、励ましの言葉を帰りの会等で伝える。

【提示資料1】 友達との関わり方について、アンケート結果（表またはグラフ）について以下のアンケートを、授業の数日前に行い、3番と4番について集計結果をグラフ等に表す。

生活振り返りアンケート

アンケートは無記名です。安心して、思っていることを正直に書いてください。

- 1 毎日の学校生活は楽しいですか？
ア すごく楽しい イ 楽しい ウ 少し楽しくない エ ぜんぜん楽しくない
- 2 あなたは3年生（4年生）になってから、いじめを見ていやだなと思ったことがありますか？
ア ある イ ない

- 3 「ある」と答えた人にききます。そのとき、あなたはどうしましたか？

- 4 次のような場面に出くわしたとします。あなたならどうしますか？

<ある日の昼休み>

図書室から本を借りて教室に戻ってくると、A君が「返してよ」と言ってB君が手に持ったふで箱をとろうとしていました。B君は笑いながらそれをC君に投げて渡しました。A君は怒った顔でC君にかけよると、C君はまたB君に投げ返しました。そういうやりとりが2～3回続いているうちに、あなたにもだんだんと、じょうきょうが分かってきました。そのうち、B君がふいに、あなたの方に投げてきたので、あなたはそのふで箱をキャッチしました。ふで箱には、A君の名前が書いてありました。そこにすばやい動きでC君が、あなたの前に近づいてきてふで箱に手を伸ばしました。

回答のグループ分けとして

- a ただの遊びなのでB君かC君にパスする。
- b C君には取られたくないが、取られたら仕方がない。
- c C君に取られないようにして、A君に返す。あとはそのまま。
- d B君とC君を注意してやめさせる。
- e そっと先生に伝える。

【提示資料2】 1年生や2年生、学校の先生からのビデオメッセージ「ありがとう3年生（4年生）」

- ・ 下学年の担任に感謝の言葉メッセージを依頼し、帰りの会等で人選していただく。
例) 友達と喧嘩したときに仲裁してもらった。悲しかった時に、「どうしたの？」と声掛けしてもらった。
- ・ 学年に関わりのある級外の職員や元担任、隣クラスの担任などに、「あのときこんなエピソードがあった」などを話してもらう。

※ビデオは、長くとも2分以内程度とする。

<適する実施時期> 5月中旬～6月または10月～11月

<指導の流れ>

- ① 事前アンケートを実施
- ② 提示資料として『友達との関わり方についてのアンケート結果（表またはグラフ）』を作成
- ③ 当日の授業【学級活動（2）本当の勇氣】
- ④ 自己決定カードを学級に掲示し、1～2週間の実施
※期間中は、帰りの会等に簡単に振り返ったり、担任からの励ましの言葉をかけたりする。
- ⑤ 期間終了した後、振り返りを行う。
※合わせて「毎日の学校生活は楽しいですか？」のみ、アンケートを行う。
- ⑥ ショートの学級活動（2）を行う。
 - ・振り返りの発表（自分の頑張りを確認させる）
 - ・「毎日の学校生活は楽しいですか？」アンケート結果を提示し、学級全体としても改善できてきたことを確認し、よりよい学級づくりへの意欲を高めさせる。